

会館だより

2013年 2月号 第284号



公益財団法人 日中友好会館

「会館だより」2月号の内容

行事案内

《日中友好会館美術館》

- ・新春展「☆空飛ぶ芸術☆
－山東省濰坊^{いほう}の世界展」

《日中友好後楽会》

- ・定例談話会
- ・第22回観桜会

活動記録

- ・後楽会会員総会（もみじの会）
- ・第38期後楽寮寮生委員会が発足
- ・小田原ホームステイについての感想

附録

- ・理事長のツイッター

会館行事と人の動き

表紙

山東省濰坊^{いほう}『龍頭ムカデ^{むかで}』

(2013年2/1～2/24開催

「山東省濰坊^{いほう}の世界展」より)

行事案内

日中友好会館美術館

◆新春展「☆空飛ぶ芸術☆

—山東省濰坊**いぼう**の**世界展**—

会期：2013年2月1日(金)～2月24日(日)

時間：10:00～17:00

休館日：水曜休館 入場料：無料

主催：公益財団法人日中友好会館

後援：中国駐日大使館、(公社)日中友好協会、日本国際貿易促進協会、(一財)日本中国文化交流協会、日中友好議員連盟、(一財)日中経済協会、(社)日中協会、日本の凧の会、横浜市政策局



美人画凧

今回は山東省濰坊の代表的な民間工芸である凧を作って50年、濰坊市政府公認の数少ない「凧明星(凧工芸優秀職人)」である孫継和氏がこの展覧会のために創作した約120点の凧を展示します。孫氏が再現に成功した2000年前の凧の元祖と言われる木製の「木鳶」や、指先ほどの小さなミニ凧、鳥かご凧、美人画凧などバラエティーに富んだ面白い凧が勢ぞろいです。ご家族、友人をお誘い合わせの上、ぜひご来場ください。



燕夫婦凧

【関連イベント】

○凧制作実演：2月2日(土)

10:00より約30分間、展覧会場にて。来日する濰坊凧職人が竹の骨組みを曲げるところなどを披露します。見学自由。

○凧揚げイベント：2月2日(土)

14:00頃より、横浜海の公園(横浜市金沢区)にて。凧職人が濰坊の凧揚げを披露します。凧揚げ体験もできます。一般参加自由、予約不要。現地に直接お越しください。

詳細は下記までお問合せください。

【文化事業部 電話：03-3815-5085

e-mail: bunka@jcfcc.or.jp】



鳥かご凧

日中友好後楽会

◆定例談話会

日 時: 3月7日(木) 17:00より
会 場: 日中友好会館地下1階大ホール
参加費: 1,500円(会員)
非会員の方はお問合せください。

2月はハイキング特別編を実施するため、3月初めに談話会を開催することとしました。

今回は、寮生の孔曉鑫さんを講師に迎えて、春にふさわしい中国のお琴「古箏」のお話と演奏をしていただきます。古箏の歴史や構造、日本のお琴との違いなどのお話や、古箏の代表曲や中国伝統曲の演奏です。どうぞご聴講ください。講義後には、館内のレストランにて交流夕食会を開きます。



◆第22回観桜会



日 時: 3月26日(火) 17:30より
(受付17:00～)

会 場: 小石川後楽園 涵徳亭
参加費: 3,000円(会員)

非会員の方はお問合せください。

少し先ではございますが、今年の観桜会の日程が決定しましたのでお知らせいたします。

本年も小石川後楽園のしだれ桜が満開の時期に後楽会会員の皆様、大使館関係者の皆様ほか沢山の方との懇親会を開催いたします。年に一度の大きな集まりですのでぜひご参加ください。

【申込み・問合せ】

後楽会事務局 小林陽子

電話: 03-3811-5305 FAX: 03-3811-5263

メールアドレス: kourakukai@jfc.or.jp

活動記録

◆後楽会会員総会（もみじの会）



懇談する後楽会会員と後楽寮生

第22回目となる、今年の会員総会は、11月29日に小石川後楽園内「涵徳亭」で行われました。後楽会会員、後楽寮寮生委員、会館職員の総勢52名が集まり、賑やかな雰囲気で行われました。

(後楽会事務局)

◆第38期後楽寮寮生委員会が発足

後楽寮には寮生の自治組織である寮生委員会があります。任期は毎年1月から12月の1年間で昨年秋に募集を行いました。その後立候補された寮生を留学生事業部が個人面接、検討し、委員長1名、副委員長2名をはじめとする各委員の計13名が第38期寮生委員会としてスタートしました。

寮生委員会は寮生の生活サポートや寮内のいろいろな活動や行事、さらには外部との交流のスタッフとしても活躍しています。昨年は200回以上もの活動がありました。

今期も様々な活動がありますが、まずは春節祝賀会に向けて現在留学生事業部と日々打ち合わせをしながら準備を始めています。

留学生事業部としても各寮生委員の学業になるべく影響しないよう各方面で指導、サポートをしていきたいと思っています。



周部長ご夫妻を囲んだ新寮生委員

(留学生事業部)

◆小田原ホームステイについての感想

12月7日、寮生の韓衛盟、郭建文、コックの劉朝陽と一緒に神奈川県小田原市にある小嶋さんのお宅にホームステイに行き、いろいろ体験させていただきながら、感動的で実り多き三日間を過ごしてきました。

寮を出る前、寮務室の内山さんと小金さんに、「この三日間はずっと晴れるようなので、楽しんで来てください」と見送られ、ワクワクしながら出発しました。電車に乗っている時に東京でやや強い地震があった際、寮務室の田辺さんはすぐ私たちに連絡して、私たちの無事を確認した上で小嶋さんとも連絡して下さったことにも感謝します。

鴨宮駅の改札口で、私達の四人グループを見ると、すぐ手を振って下さった白髪のおじいさんがいました。まさにこの方が小嶋さんでした。簡単な挨拶をして、駐車場で奥さんと合流し小嶋さんのお宅に伺いました。そして荷物を置いてから、みんなと居間で日本の家庭料理すき焼きを食べました。話をしながらあつあつの肉をたくさん食べました。歓談しているうちに親しく

なって、私たちは「お父さん」「お母さん」と呼ぶようになりました。お父さんとお母さんは髪の毛だけシルバー世代に入っていますが、心はずっと青春のままでした。お父さんとお母さんの年を聞いたら、私達は信じられませんでした。二人の人生は20年ごとに青春を繰り返しているとお父さんは言い、自分でも確かにその通りに過ごしているというのです。お父さんとお母さんにはこれからも元気で活躍するようにと心の中で祈りました。

二日目は朝食の後、みんなでおにぎりの作り方を勉強し、午前中は小田原文学館へ案内していただくと、小田原には白秋をはじめ多くの文学者が居住したことがわかりました。午後は小田原城と小田原城歴史見聞館を訪れ、お父さんとお母さんは北条氏五代にわたる歴史、「一夜城」の話と豊臣秀吉の知恵、寄木細工、御輿などを説明してくださり、とても勉強になりました。その次に日本伝統の温泉一銭湯を体験させていただきました。様々なお湯があって、気持ちよかったです。

晩御飯はコックの劉さんの見せ場で、一緒に中国式の水餃子を作って食べました。夜はお母さんがコースージュを教えてくださいました。色鮮やかな新聞紙はお母さんの手によって美しい花に変身し、みんな感心しました。劉さんが紙で跳ぶ蛙を作ったら、お母さんが気にいっていたようで、跳ばせている姿はとてもかわいかったです。



小田原白秋童謡館にて、
お父さん、お母さんをはさんで

最後の日は朝食の後、蜜柑山へ蜜柑を取りに行きました。途中、遙か先に富士山を眺めました。蜜柑園は海を一望できる山の上にあつて、景色は非常に綺麗ですが、急な坂道とカーブを平気に運転するお父さんの腕にも感心せずにいられませんでした。大いに実っている農薬なしの蜜柑を見てうれしくて、収穫の雰囲気を感じました。来年も豊作であるようにと祈っています。昼食はおでんでしたが、前日の夜から、お父さんが準備し煮込んでおいたもので、温かいうちにいただきました。



蜜柑園にて

この三日間、お父さんとお母さんは充実したスケジュールを作ってくださいまして、本当にお世話になりました。しかも、お母さんは風邪を引きながらも案内してくださいまして、感動せずにいられません。お父さんとお母さんは自分の生活では節約していますが、私達に対しては何ひとつ惜しまずに、後楽寮の寮生に日本人の生活を体験させようとしていています。私達ももっと国際交流に自分なりに力を入れたいと思いました。

(後楽寮生 呂 天雯)



理事長のツイッター

(公財)日中友好会館 理事長 武田 勝年

1978年8月12日、北京で日中平和友好条約が調印された。私は、同年7月から上海に長期出張し、宝山製鉄所第一期工事の火力発電所設備受注交渉に参加していた。毎日朝早くから夜まで厳しい交渉が続いていたが、中国側からの呼びかけで日中平和友好条約調印の祝賀パーティが開かれることになり、日本側交渉団も何か出し物（表演）を準備して雰囲気盛り上げて欲しいとの要請があった。困った。何しろ交渉に参加しているのは、30代から50代のおっさんサラリーマンばかり。結局、当時街で耳にすることができた「東方紅」を中国語で合唱することとし、楽譜とテープを買ってきて夕食後何度か急遽特訓。中国語が出来ない交渉メンバーの合唱としては、パーティ当日はなかなかの出来栄で会場から万雷？の拍手。日中関係が新しい段階に入ったことを実感し、大変嬉しく興奮したことを覚えている。当時は、殊更友好を唱えなくても、中国は経済建設のために日本の技術や資金を必要とし、日本側関係者は中国の改革・開放政策推進のお手伝い出来ることに喜びを感じていた。

今年は、両国の新政権が大局に立って智恵を出しあい、しっかり話し合いすることによって関係の改善が進むことを期待しているが、中華民族の偉大な復興を掲げる中国の成長と安定に日本として何が出来るのか判然としない。世界第2位の経済大国となった中国にも、世界とアジア諸国の成長と安全に資する中日関係のあり方を再度考えて頂きたい。

日中友好会館は公益財団法人に移行して2年目を迎える。今まで30年に亘って注力してきた公益事業4本柱の基礎の上に、35年前とは全く異なる環境の下で関係者に喜んで頂ける新しい事業を全職員と一緒に模索して行きたい。

会館行事と人の動き 12/1～31 (2012年)

● 会館行事

- 12/ 6 ▶ 新入寮生懇親会
 - ▶ 後楽会中国画教室
- 12/ 7～12/ 9 ▶ 小田原ホームステイ
- 12/18 ▶ 第5回理事会
- 12/29 ▶ 寮生委員会主催後楽寮忘年会

● 来館・訪問・面会

- 12/ 3 ▶ 人民中国雑誌社 賈秋雅支局長他 来館 (留学生事業部)
- 12/10 ▶ 中国国際航空 羅勇支店長 面会 (王理事)
 - ▶ 国学院大学国際交流課 石山昭彦課長 来館 (留学生事業部)
- 12/11 ▶ 留学生事業部 周曉光部長 帰国
- 12/13 ▶ 木寺昌人 駐中華人民共和国特命全権大使 来館
 - ▶ 東京華僑総会面談 (武田理事長)
- 12/19 ▶ 後楽会(中国)友好聯誼会 李澤秘書長 来館
 - ▶ 長崎県企画振興部国際課 天野俊男課長 来館 (王理事他)
- 12/20 ▶ 中国大使館 郭燕公使参事官 面会 (王理事)

● 行事参加、その他の活動

- 12/14 ▶ 遺棄化学兵器懇談会 (武田理事長)
 - ▶ 東京華僑総会懇親会 (武田理事長、王理事)
- 12/20 ▶ 木寺・丹羽新旧駐中国大使歓送迎会
 - ▶ 中国人留学生友の会主催“留学生を囲む望年会”(留学生事業部)
- 12/27 ▶ 中国大使館 韓志強公使 忘年会 (武田理事長、王理事、小島事務局長)